

科目名		学年	単位	授業時間	科目区分	授業形態	学修単位
情報処理 I Information Processing I		1E	2	90分×30回	履修	講義/演習・通年	—
教員名	岡村好庸 OKAMURA, Yoshinobu						
授業概要	コンピュータに慣れ、簡単なアプリケーションソフトウェアを自力で作成できるようになるため、VISUAL BASICによるプログラミングを学ぶ。数値計算プログラム、文字列処理プログラム、図形表示プログラムなどの講義・演習を行う。特に演習を重視する。また、インターネットの仕組みを理解し、情報セキュリティ、個人情報とプライバシー保護の考え方について理解し、正しく実践できるようにする。						
到達目標				評価方法			
(1) VBを利用して基本的なアルゴリズムを理解し、図式表現や初等的なプログラミングができる。(2) 数値計算など初歩的演算の仕組みを理解できる。(3) データの型とデータ構造が理解できる(5) 情報伝達システムおよびインターネットの仕組みを理解し、実践的に使用できる。(6) 情報セキュリティの必要性、インターネットを用いた犯罪例などを知り、様々な脅威の実態とその対策について理解できる。(7) 個人情報とプライバシー保護の考え方について理解し、正しく実践できる。				評価方法は、①前期中間試験(20%)前期末試験(20%)後期中間試験(20%)後期末試験(20%)、②レポート(20%)			
学習・教育目標		(B)		JABEE基準1(2)			
授 業 計 画	回	項 目	内 容	回	項 目	内 容	
	第1	VB概要	起動終了 ツールボックス概要	第16	SubとFunction プロシージャ1	Subプロシージャ	
	第2	ラベルコントロール1	ラベルの貼り付けと表示、ラベルの代表的なプロパティをプロパティウィンドウで設定する	第17	SubとFunction プロシージャ2	Functionプロシージャ	
	第3	ラベルコントロール2	Formのロードイベントでラベルに文字を表示する、Formのロードイベントでラベルのプロパティを設定する	第18	グラフィック描画	長方形(正方形)の描画 楕円(円)の描画 直線の描画	
	第4	ボタンコントロール1	ボタンとクリックイベント、メッセージボックスを使う	第19	タイマー	時計とストップウォッチ	
	第5	ボタンコントロール2、テキストボックスコントロール1	有効無効と可視不可視のプロパティ、文字列入力と表示	第20	スクロールバー	スクロールボックスの位置表示	
	第6	テキストボックスコントロール2	数字の連結と加算、テキストボックスの複数行表示	第21	スクロールバー	ボタンまたはスクロールバーを用いたラベル背景の色表示	
	第7	テキストボックスコントロール3	テキストチェンジイベント、テキストボックスのクリックイベント	第22	チェックボックス	アイテムのリスト登録	
	第8	中間まとめ	中間まとめとして試験を実施する。	第23	中間まとめ	中間まとめとして試験を実施する。	
	第9	構造化プログラミング1	変数の型と定数	第24	ラジオボタン	ラベルのテキストの位置と色を変える	
	第10	構造化プログラミング2	接続構造	第25	コンボボックス	アイテム選択、追加	
	第11	構造化プログラミング3	選択構造1	第26	コンボボックス	名簿の作成とソート	
	第12	構造化プログラミング4	選択構造2	第27	ピクチャボックス	関数のグラフ表示	
	第13	構造化プログラミング5	反復構造1	第28	ピクチャボックス	曲線をマウスで描画	
	第14	構造化プログラミング6	反復構造2	第29	情報セキュリティとインターネット	情報伝達システムおよびインターネットの仕組みと情報セキュリティについて	
第15	構造化プログラミング7	反復構造3	第30	まとめ	全体の学習事項のまとめを行う。また、授業評価アンケートをおこなう。		
自学自習の内容	レポート課題を課す。						
関連科目							
教科書	自作テキストを用いる						
参考書	VB2010のマニュアル						
授業評価・理解度	最終回到授業評価アンケートを行う。						
副担当教員							
備考							